

2025.7.17



地域日本語支援ニュース こだま 第 457 号

ともに生きる

～地域で、日本で、そして世界で～



★—— メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます。——★

【地域日本語支援ニュース 「こだま」】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会（AJALT）発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

★—— 皆様からのご意見、ご感想をお待ちしています。——★

編集部：<https://www.ajalt.org/local/soudan/contact.html>

■ともに生きる：東京都中央区月島より■

東京都中央区には中央区文化・国際交流振興協会主催の3つの教室を含め11の教室が活発に活動しています（注1）。その中で、2023年に発足したCNC月島の代表竹広さんに教室誕生の経緯と活動をご紹介します。

「月島発——言葉でつながる新しいコミュニティ」

CNC月島 代表 竹広敏和

◆ボランティア日本語教室「CNC月島」の発足

ベイエリアを臨む東京都中央区月島（つきしま）は、高層マンション群が立ち並ぶ都会の景観と、もんじゃ横丁に代表される下町情緒（じょうちよ）が同居する不思議な街。そんな月島で2023年（令和5年）夏、外国語を母語とする住民のための小さな日本語教室が産声（うぶごえ）を上げた。教室の名はCNC月島（Chuo Nihongo Circle Tsukishima）。発足の背景には、増え続ける外国人住民の“声なき声”を拾い上げたい——という有志の切実な思いがあった。

◆背景——地域に広がる「ことばの壁」

中央区の外国人区民は1万2,913人（2025年4月時点）。区民全体の約7%が外国人。1年間で1,776人、約16%増加した。日常生活の日本語に不安を抱える人は少なくない。企業や学校に所属することで、日本語学習の機会が持て

た方がいる一方で、地域に縁（えん）がなく、家庭内に留（とど）まり、生活に必要な言葉が学べない方々も少なからず存在する。

特に、配偶者として来日された方やそのご家族。レストランで「きょうのお薦め（おすすめ）は」とたずねられない。「ごはん少なめで」とお願いできない――。日本人には些細（ささい）に見えることばの壁が、快適なはずの都心居住の便利さや楽しみを奪（うば）ってしまう。

◆産声――「全員受け入れ」を掲げて（かかげて）スタート

- ・2023年7月 準備スタート
- ・同年12月金曜日午前クラスを開講。参加予想を上回る18人が応募
- ・2023年12月～2025年5月 応募総数84人（原則全員受け入れ）

教室ルールで「応募者は原則全員受け入れる」と決めたのは、区内で活動中の10のボランティア教室では対応しきれない（順番待ちの）学習希望者を一人でも多く受け入れるためだ。

小さく生まれた教室は徐々に大きくそだっている。

◆成長――「声」に応える体制整備とキャパシティの拡大

- ・ボランティア指導者：開講時5名→現在*14名
 - ・教室のキャパシティ：開講時25名部屋→現在100名部屋
- *現在（2025年5月）

開講時からグループでの学習を標榜（ひょうぼう）し、今では最大で指導者1名←→学習者6名の体制も。上級学習者や1年間の受講を終えた卒業生を「サポーター」として任命し、初級者の学習を支援する仕組みも整えた。

◆現場――金曜午前、活気あふれる教室

学習は毎週金曜日午前10時から。初参加者は、初日に全員の前で日本語で自己紹介。

初日の10時から学びの「真剣勝負」が幕を開ける。

そして使用しているテキストを使って基本を理解した後、「自分ごとに変換」して日常会話につなぐ。

例) テキスト→キム・30歳・会社員

自分ごとに変換→私は主婦です。私の夫は会社員です。私の息子は7歳で日本橋小学校の1年生です。

- ・出席率 68%
- ・毎回復習インタビューで学びの定着をチェック
- ・宿題は発音練習と語彙暗記（ごいあんき）

「教える責任」と「学ぶ責任」が交差・融合する学びを実感できる教室。グループ学習の中では、学習者同士の会話も活発。教室には言語学習以上に心のきずなが芽吹く（めぶく）。

◆課題——「多くの学習者を受け入れる力、教室を続けていく力」

- 1.さらなる指導社の獲得（かくとく）
- 2.教室スペースの拡張（かくちょう）
- 3.グループ学習ノウハウの共有

といったハードルが立ちはだかる。全員で、一つひとつの解決に向けて努力していく。

◆ビジョン——月島から多文化共生の波を

CNC 月島が目指すのは、言語を超えて互いを理解し合う「共生コミュニティ」着実に一歩ずつ歩むことで月島の、そして中央区の街なみに新たな彩り（いろどり）を添（そ）えたい。

言葉は壁にも橋にもなる。私たちは、「橋」を架（か）け続けたい。暮らしの中で、日本語が“楽しさ”に変わる瞬間。その笑顔を見るのが私たちの思い。

お問い合わせ

CNC 月島（中央日本語サークル）

E-mail; nihongo@cnctsukishima.com

—CNC 月島 代表 竹広敏和

注1 中央区文化・国際交流振興協会「日本語教室」

<https://www.chuo-ci.jp/japanese-6/>
